

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2017-12-01

No. 93

株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2本社・大野木事業所
<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-39 Ed. 1.0 (2017-03) – Part 4-39: 近接放射界-イミュニティ試験.....	3
IEC: 新規格リスト.....	7
ISO: 新規格リスト.....	8
UNECE: 国際テーマ: 1958 年協定の改訂 3 — 質問及び回答(3/3).....	9
国際テーマ: ウラジオストックで IEC 年次総会を開催.....	11
国際テーマ: 南アフリカが IECCE/CB スキームから脱退.....	11
国際テーマ: ロシアが CB 試験証明書の受け入れを減らす.....	11
国際テーマ: 中国が電気自動車の進化をリード.....	12
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	12
USA: FCC: Part 2, 15, 18, 73, 74, 78, 80, 87, 90, 及び 101: 無線周波機器の認可: 2017/11/2 施行.....	13
USA: FCC: KDB: Part 15 又は Part 95 subpart M のいずれかに基づき証明されたセンサー.....	14
USA: FCC: 15.31 項(c)および 15.35 項(b)の適用除外申請: 24.0-28.0 GHz 保安検査用システム.....	15
USA: CPSC: ゼン Zen 磁石に関する決定を発表.....	16
USA: CPSC: 特定のフタル酸を含む子供向け玩具および育児用品の禁止: 最終規則を発行.....	17
USA: OSHA: 国家認定試験所(NRTL)プログラムの概要 (5/6).....	18
USA: DOE: 超急速充電のためのバッテリー、及び電気駆動システム開発に資金を提供.....	19
USA: EPA コンピュータ基準バージョン 7.0: 第 2 草案について.....	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	20
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	21
USA: IEEE: 新規格リスト.....	23
EU: 整合規格リスト発行: 能動埋込式医療機器指令/医療機器指令/IVD 指令/無線機器指令.....	25
EU: 無線機器指令整合規格リスト発表: 解説: 2017/11/17 日付け.....	25
EU: 機械に関する指令 2006/42/EC の評価 最終報告書.....	26
EU: 個人用防護具 (PPE) ガイドライン – 2017/8/24 版入手可能: 新 PPE 規制(EU)発効.....	29
EU: 欧州委員会、クリーンな自動車における EU の世界的リーダーシップを強化.....	30
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	31
EU: ETSI: 新規格リスト.....	35
オーストラリア: 無線通信 (沿岸ポート無線サービスバンドで使用されるデバイス) 規格.....	36
中国: CQC: オートバイ製品の強制性製品認証実施細則の改訂に関する通知.....	37
中国: CQC: 電気炊飯器の省エネルギー認証への新版認証規則の実施に関する通知.....	37
中国: 新規格リスト.....	37
台湾: 検査対象のスピーカーなど 24 項目の商品の関連検査規定を改正し、即日発効.....	39
台湾: 新規格リスト.....	39
韓国: 海上業務用無線設備の技術基準の一部改正案行政予告.....	39
韓国: 航空業務用無線設備の技術基準の一部改正案行政予告.....	40
韓国: ギガ級のインターネットサービス端末装置の技術基準の一部改正案行政予告.....	40
総務省: 電波法施行規則等の一部を改正する省令案等意見募集—LTE-Advanced の高度化等.....	41
総務省: 情報通信審議会: デジタル海上無線通信設備作業班(第 3 回): 電波防護指針.....	41
総務省: 周波数再編アクションプラン(平成 29 年 11 月改定版)の公表.....	42
総務省: 平成 29 年度無線設備試買テストの中間結果報告 (10 月期).....	43
経済産業省: 電気用品安全法: 登録検査機関の概要 及び国内登録検査機関一覧.....	43
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正しました (平成 29 年 11 月分).....	44
国土交通省: UNECE: 我が国主導の国際的な車両認証制度 (IWVTA)、新たに成立.....	44
ちよっといっつく〜小クイズコーナー 米国 FCC の無線周波数装置の認可に関する規則改正12.....	24
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内.....	24
社長の独り言.....	45

IEC: 規格解説: IEC 61000-4-39 Ed. 1.0 (2017-03) – Part 4-39: 近接放射界 – イミューニティ試験

- IEC 61000-4-39 Edition 1.0 電磁両立性 (EMC) – Part 4-39: 試験及び測定技術 – 近接放射界 – イミューニティ試験、2017-03 付で発行。
- 本規格は、電気/電子機器が、近接して使用される RF 送信機から放射される電磁エネルギーに曝された場合の、電気/電子機器に対するイミューニティ要求事項を、規定する。又、試験レベルと必要な試験手順を確立する。適用される周波数範囲は 9 kHz - 6 GHz である。携帯用送信デバイスに曝される固定機器、固定送信デバイスに曝される移動機器、および他の移動送信デバイスに曝される移動機器を考慮する。

USA: FCC: Part 2, 15, 18, 73, 74, 78, 80, 87, 90, 及び 101: 無線周波機器の認可: 2017/11/2 施行

- 本誌 2017-8-1 (89)号、2017-10-1 (91)号で報告の記事「USA: FCC: 無線周波数装置の認可に関する委員会規則の Part 0,1,2,15 および 18 の改正」(FCC 17-93 第一次報告書及び指令)の内容は、今回の官報発布を持って 2017 年 11 月 2 日付で発効した。
- 2 つの既存の自己承認手続き(検証及び DOC)を組み合わせ、SDoC に一本化し、かつ、これらの規則で認可される多くのデバイスの承認プロトコルを単純化するという提案を、ほぼ全面的に採用した 等々。

USA: FCC: KDB: Part 15 又は Part 95 subpart M のいずれかに基づき証明されたセンサー

- パート 15 又はパート 95 サブパート M のいずれかに基づき証明されたセンサーは、陸上運搬用車両だけでなく、もっと幅広く、鉄道機関車、鉄道車両、モノレールまたは路面電車、建設用車両、トラクターや刈取機などの農業用車両、電動自転車、オートバイ、スクーターやモーターバイク、モバイルシザーリフトや移動式作業台、米国の領海内で運用されるボートと船に、取り付け利用することができる。

EU: 無線機器指令整合規格リストが発表: 解説: 2017/11/17 日付け

- 2017/11/17 日付け無線機器指令 (RED) (2014/53/EU)/R&TTE 指令(1999/5/EC)整合規格リストが発行された。(new)の表示のある今回追加された規格は、5 件であった

EU: 機械に関する指令 2006/42/EC の評価 最終報告書

本報告書は、機械に関する指令 2006/42/EC の評価を行っている。

- 報告書の要点
 - * 機械指令 MD と関係した欧州整合規格の有効性に関して、ポジティブに反応。但し規格購入費用が高すぎるとの声が高かった
 - * 市場監視と実施は一般的に不十分で効果がないと考えられている
 - * 指令施行に伴う必要なコストに関する評価: 内部チェックによる適合性評価の場合、一会社当たり、適合性評価の回数は年間 14.5 回、一回当りに必要な日数 1.393 日

国土交通省: UNECE: 我が国主導の国際的な車両認証制度 (IWVTA)、新たに成立

- 我が国が主導してきた国際的な車両認証制度 (IWVTA) が新たに成立しました
～安心・安全な車の国際的な普及を目指して～
国連規則第 0 号、UNR 0 が成立、2018 年 6 月頃に発効する見込み。

社長の独り言

平成 29 年 11 月 21 日
濱口 慶一

今日は長年の懸案事項であった電気用品安全法に基づく登録検査機関に平成 29 年 11 月 21 日付けにて登録されたことをご報告し、皆様方へ感謝のご挨拶を申し上げたいと思います。

取消から約 8 年掛かりましたが、認証システムの再構築や評価技術の向上に向け、外部の沢山の友人や業界の有識者の方々のご指導を仰ぎ、認証システムの改善に取り組んで参りました。その成果が認められ、再登録が叶いました。

たくさんのアドバイスをいただいた高杉氏は、今は帰らぬ人となってしまいましたが、私との長時間の面談で、私の製品安全に取り組む姿勢について次の厳しいアドバイスがあったことを思い出します。「濱口さん、製品安全マーク取得代行を業としてきた貴方は、これからはコスモスが認証した電気製品を購入する人達のさらなる安心安全を確保するための立ち位置に変更しなさい。その上で監督省庁の指導の下に、製品認証業務を遂行することをまず認識して下さい。」この言葉を肝に銘じて製品安全に取り組む所存であります。また、高杉氏の講義の受講の合間に色々と質問する私に「濱口道場」を作りなさいともアドバイスしていただきました。コスモスから製品安全業界で活躍する技術者を各方面に沢山輩出すべく、「濱口道場」で若い技術者をサポートしていきたいと強く決意しています。

また、電機業界というか、サラリーマン社会で裸一貫でここまでこれたのも、私たちに絶え間ない支援をいただいたメインバンク、また何よりも私達を信頼して、時には厳しいご指導をいただいたお客様のお陰と社員一同、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。同時に、二度と監督省庁、またお客様にご迷惑をお掛けしない決意で、登録検査機関として再スタートしていきたいと考えています。今一層のご支援とご高配を賜りますよう、宜しくお願いします。

さて、いつもの独り言ですが、最近、家内の血液検査で CA19-9 という癌のマーカーが異常に高いのが発見され、ここ 3 週間検査、検査が続きました。主治医からその結果報告の面談要請が私にありました。その際、いつもご主人が来ないので、一度同席してくださいとのお呼びがあり、一緒に聞きました。メインの椅子に私が、家内がサブの椅子に座り、いよいよかとも思いながら（覚悟でなく）先生の話の聞くと、どこにも癌の兆候が見つからない、見つけれないという報告でした。私は主治医に私の言い分を以下のように伝えました。

- 1、平素からケチらないで健康診断時に癌のマーカー検査を受けなさいと言い続けてきた。
- 2、なのに一度も受診しようとしな。
- 3、そのため前回の会社の健康診断時に癌のマーカーだけは検査してもらうように言った。
- 4、受診しないなら後で文句を言うな、「亭主元気で家族の為に働いて働いてぼっくり逝こう、家内美人で早く逝け」でお互い行こうな。。。。
- 5、お前の友人の K 氏に、男は家内や子供の代わりはなんぼでもあるがこれぞと決めた仕事の代わりはないと教えられて今まで働いてきた。これからもそれは変わらんぞ。
- 6、CA19-9 のマーカーの異常に高い実例で癌の発見されないことについての論文のコピーをネットで探したので主治医と相談するようと渡した。

さて、先生、私は何を先生から聞いて、家内に指示をすればよいのでしょうか？主治医曰く、「どうか継続モニターとしてマーカー検査を定期的に受診して下さいね。」とのこと。家内に主治医の指導を引き続き受けるように伝え、三者決議として会議は散会しました。

皆さん、私の経験ですが、昔から 42 の厄年と言われ、その頃に重い病や事故を起こす場合が多々あるように思います。日頃から健康には十分気をつけ、肺がんの原因になると言われるタバコや、糖分の取りすぎ(お酒も適量)に注意いただき、42 - 7 歳の 35 歳辺りから最低 42 + 7 の 50 歳位までは健康診断を必ず受診し、手遅れと言われる前に病魔から回避するための予防策をとることをお勧めいたします。そこを逃げ切ると後は大病の魔から逃げられるように思います。

タバコはなんと言われても禁煙に進みましょう。1 日 60 本吸っていた私も今は嫌煙主義です。

寒くなりましたが皆様、ご自愛下さい。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報をお届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購読案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著権者に属します。

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2017-12-01 (No. 93)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2017 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。